

令和5年度第2回仙台市宮城野区区民協働まちづくり事業 評価委員会 令和5年度まちづくり活動助成事業実績報告及び事後評価 議事要旨

日 時：令和6年2月5日(月) 午後6時30分～7時50分
場 所：宮城野区役所 4階 第2・3会議室
出席者：大西委員長、有坂委員、葛西委員、安部委員
まちづくり推進課

1 開会

2 事業報告及び質疑応答

- (1) 事業名：若者による緑化まちづくり活動『Green up Field みやぎの』
団体名：東北福祉大学地域創生推進センター【1年目】

<質疑・意見>

委 員 グーグルストリートビューと今回助成を受けて作成したマップは何が違うのか。

発表者 グーグルストリートビューは編集ができないが、今回作成したマップは編集・加工ができるため、榴岡公園にある名所等を紹介することができる。

委 員 今回の発表では、区民へのお披露目をする機会を逃したとの話があるが、なぜお披露目ができなかったのか。年度内にお披露目をしなければならないという縛りはないため、区民への公開は検討できないのか？

発表者 当初計画では、11/5のみやぎの・まつりで区民にお披露目する予定であったが、天候により、マップの基礎となる榴岡公園の撮影期間が延びてしまい、今回のマップの完成が11月後半となってしまった。11月以降の区民向けのイベントで披露しようとしたが、時期がら該当するイベントがなかった。代替案として、宮城野区の企業が多数参加している仙台駅東まちづくり協議会で、お披露目し、そこから広げてもらうことにした。

委 員 この助成は、まちを活性化するための助成であるため、町内会や一般市民へのお披露目もぜひ検討して欲しい。

発表者 承知した。

委 員 高校生にとっては大変貴重で有意義な取り組みだと考えている。高校生が授業と探究等の自主的な時間のどちらで参画したのかという点と、どのようにマップにアクセスし使用できるのかを教えて欲しい。また、今後のどのように市民に利用してもらえるかイメージを教えて欲しい。

発表者 探究の時間に1年生から3年生の高校生が参画している。発表資料に記載している2次元コードからアプリケーションにアクセスしていただき、スマートフォンで利用していただける。アプリケーションのダウンロードは必要ない。現状では、アプリケーションにアクセスできる2次元コードを市民へ広報していないため、市民への普及については、発表資料に記載しているまちづくり活性に寄与できる機会等でお披露目をしていきたいと考えている。

(2) 事業名：市バスに乗って行こう—新浜の貞山運河小屋めぐり

団体名：貞山運河倶楽部【2年目】

<質疑・意見>

委員 チラシもおしゃれであり、毎回の参加者が50人を超える盛況ぶりで素晴らしい。今年度は、発想の転換でアートを主軸としたイベントを開催しており、人の輪が広がっている点が良いと考えている。事業名に「市バスに乗って行こう」と入っているため、1年目は市バスを活用したまちの活性化を検討していたが、土日は会場近くまで市バスが運行されていないことが分かり、2年目は、地下鉄の駅に案内を設置し参加者を増やしているなどの工夫が見られる点は高く評価できる。イベントには若い人も参加しているが、どのような人が参加しているのか。

発表者 貞山運河に小屋を作ったアーティストの友達等が参加している。また、子供が参加しやすいようウェルカムクラブで地元の食材を使った料理教室を行い、作ったクッキーなどを小屋めぐりの参加者などに提供している。

委員 発表にあったアーティスト村の具体的なイメージを教えて欲しい。

発表者 最終的には瀬戸内海でベネッセが行っているアーティスト村をイメージしている。これから、若林区の他の地区と連携し貞山運河一帯をアーティスト村のようにして行きたい。震災後、海岸堤防や道路等は復旧したが、心を満たす何かがあると欲している。個人的には、アートが何かよく分かっていない部分もあるが、アトリエをもっている若い人やそこに参加する子供達が気軽に楽しめる場所を提供したいと考えている。

委員 参加者は、どの辺りからきているのか。地元の子は参加しているのか。

発表者 原町から南光台にかけての参加者が多い。地元の岡田の子は、震災の影響か海岸付近で遊ぶことに思うところがあるのか、参加数が少ない状況である。

(3) 事業名：ケアブレンドカフェミヤギノ

団体名：特定非営利活動法人ケアブレンド【3年目】

<質疑・意見>

委員 3年間の活動お疲れ様でした。1年目の時は、小学生から高齢者までをターゲットにしており、壮大な計画であり無謀だという話をしていたが、この3年の活動で、10代にターゲットを絞り、活動に賛同してくれる市民センターや学校等の協力者ができ、自走できていることは素晴らしいことだと考えている。また、スタッフを含めた参加者数が100名を超えており、まちの活性化に大きく貢献していると思う。今後もこの活動を継続していただきたい。

発表者 ありがとうございました。

(4) 事業名：親子にやさしいまちづくり～おやこの育ちあい事業～

団体名：KOSODATEOUENKAI

<質疑・意見>

委員 当初の計画より託児料が倍増している。申請の時は、託児の要員をセミナーの参加者の中から養成したいということだったが、計画が変わった理由を教えて欲しい。

発表者 セミナーの参加者が社会復帰をするタイミングが想定より早かったり、ご主人の転勤によって仙台を離れたりする方がいたり、こちらの想定より育児に専念する期間が短かったことによる。

委員 仙台には託児を行っているサークルが多数あるため、連携すると活動の幅が広がると思うので検討をお願いしたい。また、セミナーの参加者が託児をする側になるだけでなく、セミナーの参加者が活動の理解者になり、主体的に活動を広める側になれると活動に広がりが出てくると思うので、ぜひ検討をして欲しい。

(5) 事業名：デイハウスおよび地域セミナー

団体名：デイハウス運営委員会【2年目】

<質疑・意見>

委員 事業費については、消耗品費の割合が多いと思う。来年は助成3年目となり、その後の活動は自走が前提となるため、絞れるところは絞る等の工夫が必要ではないかと感じた。自走のための策として、拠点を増やし知名度を作っていくとのことだが、幸町地区で拠点を作るイメージなのかを教えて欲しい。

発表者 助成が終わった後の最初の拠点としては、我々の事務所がある若林区の沖野地区で拠点をつくりたいと考えている。沖野地区の町内会長から地域の人と民生委員が連携できるようなイベントを開催して欲しいという強い要望もあり、まずは沖野地区で拠点をつくり、その後増やすことを考えている。

委員 活動をするためのスタッフの人数を教えて欲しい。

発表者 デイハウスのスタッフは10名、その他民生委員等を含めて総勢22人程度である。

委員 この活動は10時～14時と長時間にわたり、スタッフの負担や準備が大変だと思うが、「デイハウス」の事業名どおり介護予防活動や給食、リクリエーションを行っている点は評価できる。昼食を提供するための経費が捻出できず「デイハウス」という形態をとれない団体が多いと聞くが、工夫があるのか。

発表者 食費は、参加者からの参加費300円を原資にしている。また、12月等の特別なイベントの給食には、この活動に理解のある地域の町内会からの協賛金を原資にしている。

3 閉会